第1号様式（第12条関係）

千代田区建築物環境計画書制度　事前協議書（住宅）

提出日			協議の段階 ［プルダウンから選択］	※
建築主	氏名			※
	住所			※
設計者	氏名			※
	住所			※
建築計画	建築物の名称			※
	建築物の所在地			※
	用途	□ 分譲集合住宅　□ 賃貸集合住宅　□ 戸建住宅（複合ビルの一戸を含む）		※
	工事期間（予定）	工事着手　　竣工日		※
	敷地面積	㎡		※
	建築面積	㎡		※
	延床面積	㎡　計算対象延床面積[注1]　㎡	注1）共用部計算省略時は専有部面積を入力	※
	階数	地上　階　地下　階　総戸数　戸		※
	構造	□ RC造　□ SRC造　□ S造		※
		□ 木造　□ その他（　）		※
	用途別延床面積（計算対象部分）	用途：　㎡　用途：　㎡		※
		用途：　㎡　用途：　㎡		※
	都市開発諸制度等の適用	□ 再開発等促進区を定める地区計画　□ 高度利用地区　□ 特定街区		※
		□ 総合設計　□ その他（　）		※
専用部設備概要	空調システム	□ なし（入居者設置）　□ 個別エアコン　□ セントラルエアコン　□ 床暖房		※
	給湯システム	□ ガス給湯機　□ ヒートポンプ給湯機　□ 電気温水器		※
		□ その他（　）		※
共用部設備概要	空調システム	□ マルチエアコン　□ 個別エアコン　□ なし		※
	昇降機	□ エレベーター　□ エスカレーター		※
採用する省CO2対策	省CO2建築手法	□ Low-E複層ガラス　□ 複層ガラス　□ 二重サッシ　□ 庇・ルーバー・バルコニー		※
		□ 外壁高断熱化（屋根断熱材：　を　mm）		※
		（壁断熱材：　を　mm）		※
	省CO2設備手法 ※設備容量（ガラスなどの場合は面積）の過半に導入した場合にチェック	空調	□ 高効率エアコン	※
		換気	□ 駐車場換気量制御　□ 機械室換気量制御　□ 全熱交換器　□ 自然換気（自動制御）	※
			□ 高効率電動機	※
		照明	□ LED照明（範囲：　）　□ 初期照度補正	※
			□ 人感センサ（範囲：　）	※
			□ 明るさセンサ（範囲：　）	※
			□ スケジュール制御（範囲：　）	※
		給湯	□ 高効率給湯機　□ 手元止水（節湯A1）　□ 小流量シャワー（節湯B1）　□ 水優先吐水（節湯C1）	※
		その他	□ HEMS	※
			□ その他（　）	※
CO2削減率努力目標 20%	創エネ手法	□ コージェネ　□ 太陽光発電　kW		※
		□ その他（　）		※
	未利用・再生可能エネルギーの活用	□ 下水熱　□ 河川水熱　□ 地下鉄排熱　□ 地中熱		※
		□ 太陽熱利用　□ その他（　）		※
	面的エネルギーの活用	□ 地域冷暖房(DHC)の受入（区域名称：　）		※
		□ AEMS（エリアエネルギーマネジメントシステム）		※
		□ その他（　）		※
浸水対策	ハザードマップ	□ ハザードエリア内　□ ハザードエリア外		※
	浸水深（エリア内時記入）	□ 0.5m未満　□ 3m未満　□ 5m未満　□ 5m以上		※
	実施する浸水対策	□ 浸水リスクの低い場所への電気設備の設置　□ 出入口等における止水板の設置		※
		□ その他（　）		※
被覆対策	緑の量、質の確保生態系への配慮	□ 地表面の緑化		※
		□ 屋上緑化や壁面緑化を採用		※
		□ 千代田区緑化推進要綱の基準を満足　※対象：敷地面積250㎡以上		※
		□ 地表面または屋上に保水性の高い被覆材を採用　□ 屋上に高反射率塗料を塗布		※
水循環		□ 雨水または中水を利用する設備を設置		※
		□ 雨水を浸透させる施設を設置（雨水浸透ます、透水性舗装、地表面の緑化、玉石敷き　等）		※
千代田区低炭素助成制度		□ 申請を検討している（もしくは申請予定）　**※申請対象：延床面積5,000㎡以下**		※
備考欄				

建物性能

省エネルギー基準	基準一次エネルギー消費量（その他を除く）	GJ/年	0.0 MJ/㎡・年	
	設計一次エネルギー消費量（その他を除く）	GJ/年	0.0 MJ/㎡・年	
	一次エネルギー消費削減量	0.0 GJ/年	0.0 MJ/㎡・年	
	BEI（設計値/基準値）	0.00	共用部計算	

	BEI代表住戸			BEI最大住戸			共用部			
UA値：（対象床面積）										
一次エネルギー消費量[GJ/年・戸]	設計値	基準値	BEI	設計値	基準値	BEI	一次エネルギー消費量[GJ/年]	設計値	基準値	BEI
暖房							空調			
冷房							換気			
換気							照明			
給湯							給湯			
照明							昇降機			
太陽光発電等による削減量							効率化設備創エネルギー量			
その他							その他			
合計（その他を除く）	0.0	0.0		0.0	0.0		合計（その他を除く）	0.0	0.0	

省エネルギー性能	削減率（努力目標20%）	0 %　努力目標未達
	CO2排出削減量	0 t-CO2・年
削減率20%未満の場合は理由	□ 建設コスト　□ 運用上の制約	
	□ その他（　）	

協議メモ	受付欄

事前協議開始時、事前協議時に、本書を区に提出・協議を実施し、受付印を受けてください。
事前協議開始時に、"※"で示した項目は、わかる範囲で全て記入してください。
計画の進捗や協議の経過に応じて、内容を更新してください。
建物性能の項目は、省エネルギー計算が完了次第記入して提出してください。
住宅のCO2削減目標は、経過措置として20%としております。

第1号様式の2（第12条関係）

千代田区建築物環境計画書制度　事前協議書（非住宅）

提出日		協議の段階	［プルダウンから選択］ ※
建築主	氏名		※
	住所		※
設計者	氏名		※
	住所		※
建築計画	建築物の名称		※
	建築物の所在地		※
	用途	□ 事務所　□ ホテル　□ 病院　□ 物販店舗	※
		□ 学校　□ 飲食店　□ 集会所	※
		□ その他（　　）	※
	工事期間（予定）	工事着手　　竣工日	※
	敷地面積	㎡	※
	建築面積	㎡	※
	延床面積	㎡　計算対象延床面積　　㎡	※
	階数	地上　　階　　地下　　階	※
	構造	□ RC造　□ SRC造　□ S造	※
		□ 木造　□ その他（　　）	※
	用途別延床面積（計算対象部分）	用途：　　㎡　用途：　　㎡	※
		用途：　　㎡　用途：　　㎡	※
	都市開発諸制度等の適用	□ 再開発等促進区を定める地区計画　□ 高度利用地区　□ 特定街区	※
		□ 総合設計　□ その他（　　）	※
設備概要	熱源システム	□ DHC受入　□ 中央熱源方式　□ 分散熱源（パッケージ・ビルマル等）	※
採用する省CO2対策	省CO2建築手法	□ Low-E複層ガラス　□ 複層ガラス　□ 庇・ルーバー・バルコニー	※
		□ 外壁高断熱化（屋根断熱材：　　を　　mm）	※
		（壁断熱材：　　を　　mm）	※
	省CO2設備手法 ※設備容量（ガラスなどの場合は面積）の過半に導入した場合にチェック　空調	□ 高効率分散熱源　□ 高効率中央熱源　□ 高効率空調機（中央熱源）　□ 変流量制御（中央熱源）	※
		□ 大温度差送水（中央熱源）　□ 変風量制御（中央熱源）　□ 外気導入量制御　□ 外気冷房	※
	換気	□ 自然換気（自動制御）　□ 全熱交換器　□ 高効率電動機	※
		□ 送風量制御（CO, CO2濃度・室内温度制御等）	※
	照明	□ LED照明（範囲：　　）　□ 初期照度補正	※
		□ 人感センサ（範囲：　　）	※
		□ 明るさセンサ（範囲：　　）	※
		□ スケジュール制御（範囲：　　）	※
	給湯	□ 高効率給湯機　□ 自動給湯栓　□ 小流量シャワー（節湯B1）	※
	その他	□ BEMS	※
		□ その他（　　）	※
CO2削減率努力目標 35%	創エネ手法	□ コージェネ　□ 太陽光発電　　kW	※
		□ その他（　　）	※
	未利用・再生可能エネルギーの活用	□ 下水熱　□ 河川水熱　□ 地下鉄排熱　□ 地中熱	※
		□ 太陽熱利用　□ その他（　　）	※
	面的エネルギーの活用	□ 地域冷暖房（DHC）の導入（区域名称：　　）	※
		□ 地域冷暖房（DHC）の受入（区域名称：　　）	※
		□ 熱融通　□ 電力融通　□ AEMS（エリアエネルギーマネジメントシステム）	※
		□ その他（　　）	※
浸水対策	ハザードマップ	□ ハザードエリア内　□ ハザードエリア外	※
	浸水深（エリア内時記入）	□ 0.5m未満　□ 3m未満　□ 5m未満　□ 5m以上	※
	実施する浸水対策	□ 浸水リスクの低い場所への電気設備の設置　□ 出入口等における止水板の設置	※
		□ その他（　　）	※
被覆対策	緑の量、質の確保 生態系への配慮	□ 地表面の緑化	※
		□ 屋上緑化や壁面緑化を採用	※
		□ 千代田区緑化推進要綱の基準を満足　※対象：敷地面積250㎡以上	※
		□ 地表面または屋上に保水性の高い被覆材を採用　□ 屋上に高反射率塗料を塗布	※
水循環		□ 雨水または中水を利用する設備を設置	※
		□ 雨水を浸透させる施設を設置（雨水浸透ます、透水性舗装、地表面の緑化、玉石敷き　等）	※
千代田区低炭素助成制度		□ 申請を検討している（もしくは申請予定）　**※申請対象：延床面積5,000㎡以下**	※
備考欄			

建物性能	省エネルギー基準	基準一次エネルギー消費量（その他を除く）		GJ/年	0.0	MJ/㎡・年
		設計一次エネルギー消費量（その他を除く）		GJ/年	0.0	MJ/㎡・年
		一次エネルギー消費削減量	0.0	GJ/年	0.0	MJ/㎡・年
		BEI（設計値/基準値）	0.00	計算プログラム		

	一次エネルギー消費量［GJ/年］		単位床面積当たり［MJ/㎡・年］		BEI・BPI
	設計値	基準	設計値	基準	
PAL*（BPI）	－	－	－	－	
空調			0.0	0.0	0.00
空調以外の機械換気			0.0	0.0	0.00
照明			0.0	0.0	0.00
給湯			0.0	0.0	0.00
昇降機			0.0	0.0	0.00
効率化設備創エネルギー量			0.0		－
その他			0.0	0.0	0.00

建物性能	省エネルギー性能	削減率（努力目標：35%）	0 %　努力目標未達
		CO2排出削減量	0 t-CO2・年
	削減率35%未満の場合は理由	□ 建設コスト　□ 運用上の制約	
		□ その他（　　）	

協議メモ	受付欄

事前協議開始時、事前協議時に、本書を区に提出・協議を実施し、受付印を受けてください。
事前協議開始時に、"※"で示した項目は、わかる範囲で全て記入してください。
計画の進捗や協議の経過に応じて、内容を更新してください。
建物性能の項目は、省エネルギー計算が完了次第記入して提出してください。
モデル建物法を使用する場合には、「千代田区モデル建物法計算結果処理シート」を使用し、一次エネルギー消費量を算出してください。

第2号様式(第13条、第15条、第16条関係)

建築物環境計画書
(計画・変更・完了)

年　　月　　日

千代田区長　殿

届出者(建築主) 住所

氏名

千代田区地球温暖化対策条例施行規則

1　第13条第1項の規定による届出をします。
2　第15条第1項の規定による変更の届出をします。
3　第16条第1項の規定による完了の届出をします。

特定建築物の名称					
特定建築物の所在地		千代田区			
設計者	氏名 (法人にあっては名称、代表者の氏名)				
	住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)				
連絡先	名称／住所				
	部署・担当者氏名				
	電話番号				
※受付番号	受付日	年　月　日	受付番号		
工事期間(予定)	工事着手	年　月　日	工事完了	年　月　日	
・建築物概要 ・環境への配慮のための措置	別添「事前協議書」「環境評価書」のとおり		建築主の氏名の公表	可 ・ 不可	
			設計者の氏名の公表	可 ・ 不可	
※変更の有無 有 ・ 無	変更前				
	変更後				
添付図書	別添のとおり				
※工事完了日	年　月　日				
添付図書	別添のとおり				

※完了届時にご記入ください。

	受付欄	確認欄
職員記入欄		

第3号様式（第13条関係）

千代田区建築物環境計画書制度　環境評価書（住宅）

☐ 協議完了時
☐ 変更時
☐ 工事完了時

建築物の名称

建物用途 建築物の所在地 竣工日		敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造、総戸数	㎡ ㎡ ㎡ ： 計算対象 ㎡ 地上 階 地下 階 戸

省CO2効果

削減率

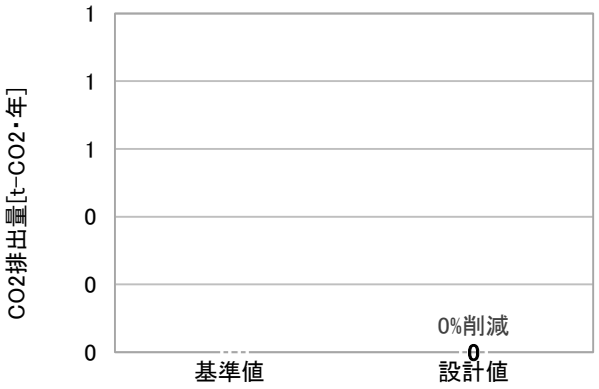
0 %

省エネルギー基準

基準一次エネルギー消費量	0.0 [GJ/年]
設計一次エネルギー消費量	0.0 [GJ/年]
BEI（設計値/基準値）	0.00
共用部の計算	0.00

CO2排出量

基準値	0.0 [t-CO2・年]
設計値	0.0 [t-CO2・年]
削減量	0 [t-CO2・年]
削減率	0 %



建物の外観パースや写真などを
貼り付けて下さい。

省CO2設備手法

- ☐ 高効率エアコン
- ☐ 駐車場換気量制御
- ☐ 機械室換気量制御
- ☐ 全熱交換器
- ☐ 自然換気（自動制御）
- ☐ 高効率電動機
- ☐ LED照明
- ☐ 人感センサ
- ☐ 明るさセンサ
- ☐ スケジュール制御
- ☐ 初期照度補正
- ☐ 高効率給湯機
- ☐ 手元止水
- ☐ 小流量シャワー
- ☐ 水優先吐水
- ☐ HEMS
- ☐ その他

省CO2建築手法

- ☐ Low-E複層ガラス
- ☐ 複層ガラス
- ☐ 二重サッシ
- ☐ 庇・ルーバー・バルコニー
- ☐ 外壁高断熱化

面的エネルギー活用

- ☐ 地域冷暖房(DHC)の受入
- ☐ AEMS
- ☐ その他

浸水対策

- ☐ ハザードエリア内
- ☐ 浸水リスクの低い場所への電気設備の設置
- ☐ 出入口等における止水板の設置
- ☐ その他

創エネ手法

- ☐ コージェネ
- ☐ 太陽光発電
- ☐ その他

未利用・再生可能エネルギー活用

- ☐ 下水熱
- ☐ 河川水熱
- ☐ 地下鉄排熱
- ☐ 地中熱
- ☐ 太陽熱利用
- ☐ その他

環境負荷低減の取り組み

- ☐ 緑の量・質の確保、生態系への配慮
- ☐ 被覆対策
- ☐ 水循環

第3号様式の2（第13条関係）

☐ 協議完了時
☐ 変更時
☐ 工事完了時

千代田区建築物環境計画書制度　環境評価書（非住宅）

建築物の名称

建物用途 建築物の所在地 竣工日		敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造	㎡ ㎡ ㎡ ： 計算対象　　㎡ 地上　　階　地下　　階

省CO2効果

削減率

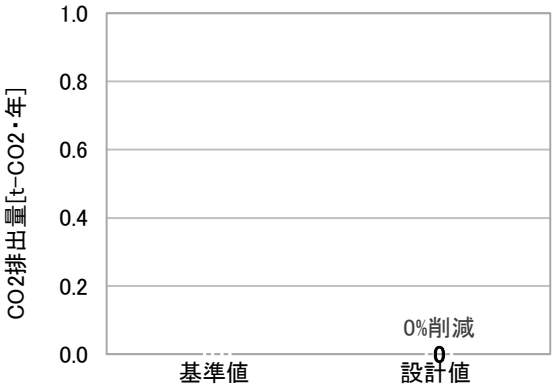
0 %

省エネルギー基準

基準一次エネルギー消費量	0.0 [GJ/年]
設計一次エネルギー消費量	0.0 [GJ/年]
BEI（設計値/基準値）	0.00

CO2排出量

基準値	0.0 [t-CO2・年]
設計値	0.0 [t-CO2・年]
削減量	0 [t-CO2・年]
削減率	0 %



建物の外観パースや写真などを
貼り付けて下さい。

省CO2設備手法

- ☐ 高効率分散熱源
- ☐ 高効率中央熱源
- ☐ 高効率空調機(中央熱源)
- ☐ 変流量制御(中央熱源)
- ☐ 大温度差送水(中央熱源)
- ☐ 変風量制御(中央熱源)
- ☐ 外気導入量制御
- ☐ 外気冷房
- ☐ 自然換気（自動制御）
- ☐ 全熱交換器
- ☐ 高効率電動機
- ☐ 送風量制御
- ☐ LED照明
- ☐ 人感センサ
- ☐ 明るさセンサ
- ☐ スケジュール制御
- ☐ 初期照度補正
- ☐ 高効率給湯機
- ☐ 自動給湯栓
- ☐ 小流量シャワー
- ☐ BEMS
- ☐ その他

省CO2建築手法

- ☐ Low-E複層ガラス
- ☐ 複層ガラス
- ☐ 庇・ルーバー・バルコニー
- ☐ 外壁高断熱化

面的エネルギー活用

- ☐ 地域冷暖房(DHC)の導入
- ☐ 地域冷暖房(DHC)の受入
- ☐ 熱融通
- ☐ 電力融通
- ☐ AEMS
- ☐ その他

創エネ手法

- ☐ コージェネ
- ☐ 太陽光発電
- ☐ その他

浸水対策

- ☐ ハザードマップエリア内
- ☐ 浸水リスクの低い場所への電気設備の設置
- ☐ 出入口等における止水板の設置
- ☐ その他

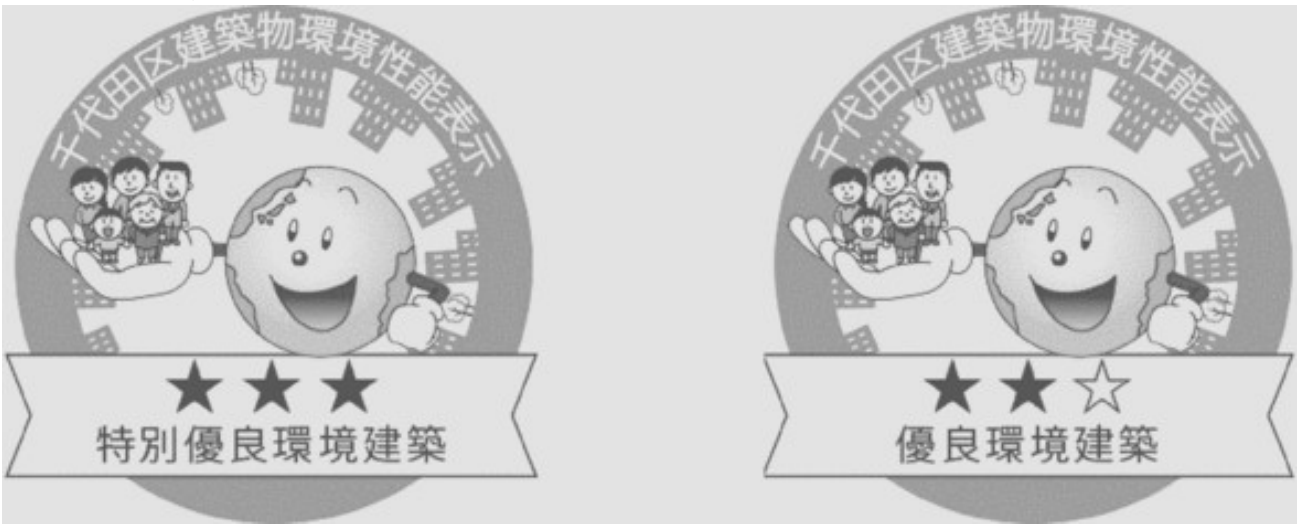
未利用・再生可能エネルギー活用

- ☐ 下水熱
- ☐ 河川水熱
- ☐ 地下鉄排熱
- ☐ 地中熱
- ☐ 太陽熱利用
- ☐ その他

環境負荷低減の取り組み

- ☐ 緑の量・質の確保、生態系への配慮
- ☐ 被覆対策
- ☐ 水循環

第４号様式（第17条関係）



第５号様式（第 17 条関係）

建築物環境性能表示（変更）届出書

年　　月　　日

千代田区長　殿

住　所

届出者（建築主）

氏　名

（法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地）

千代田区地球温暖化対策条例施行規則第 17 条第３項の規定により、次のとおり届け出ます。

特定建築物等の名称			
特定建築物等の所在地		千代田区	
建築物環境計画書等の受付番号		計画書	受付日：　　年　　月　　日／受付番号：
		変更計画書	受付日：　　年　　月　　日／受付番号：
使用する環境性能表示		□ 特別優良環境建築　　□ 優良環境建築	
設計者	氏名（法人にあっては名称、代表者の氏名）		
	住所（法人にあっては主たる事務所の所在地）		
※販売等受託者	氏名（法人にあっては名称、代表者の氏名）		
	住所（法人にあっては主たる事務所の所在地）		
連絡先		名称／住所	
		部署・担当者氏名	
		電話番号	
広告の概要			
広告日		年　　月　　日	
広告又はその写し		添付のとおり	

受付欄	

備考　変更の場合は、変更内容がわかるように記入すること。

※販売又は賃貸の代理又は媒介をする者。